

2021 年度 事業報告書

1. 事業総括

(1) 団体の活動基盤について

昨年度に引き続き、2021 年度は団体の成長プロセスを「統合化」ということで、戦略の共有に注力した。具体的には、「10 周年記念イベント」を行い、基本理念、ミッション、ビジョンの共有を行った。詳細は、1.2 を参照のこと。

年度	2011-2013	2014-2016	2017-2019	2020-2022	2023-2025
組織の成長プロセス	初期段階	構造化	標準化	統合化	最適化
状況	場当たり 属人的	徐々に明文化 計画的	プロセスの 明文化	戦略の 共有	継続した 改善
運営形態	一部のスタッフの みが運営	チーム制	チーム/ プロジェクト制	検討中	検討中

(2) 基本理念・ミッション (再掲)

■ 基本理念

多様なコミュニケーションにより人と情報をつなげ、一人ひとりが自分らしく価値を発揮しながら調和した社会を創ろう

■ ミッション

現代社会に存在するコミュニケーション上の課題 ※バリアを明らかにし、自助・共助・公助の施策でバリアに対する気づきと理解を社会全体に広めていく事で、一人ひとりの行動を変えていく

※「バリア」の例

- ・ 社会における相互理解を阻害する「コミュニケーションバリア」
- ・ 情報へのアクセスを阻害する「情報バリア」

2. 各 PJ チームの事業成果

2021 年度も継続して各プロジェクト・チームにおいて、コミュニケーションバリアフリー推進事業を実施した。

No	担当	プロジェクト名
1	吉岡 弘貴	コミュニケーションバリアフリーチーム
2	藤木 和子	家族をみんなでカンガエルプロジェクト
3	山口 タケシ	電話リレーサービス普及プロジェクト
4	吉田 将明	手話による医療通訳推進プロジェクト
5	鈴木 義雅	インクルーシブ防災プロジェクト
6	吉田 麻莉	コミュニケーションディレクターチーム
7	石川 さと	透明マスク普及プロジェクト

※インクルーシブオンラインプロジェクトは事情により休止

(1) コミュニケーションバリアフリーチーム＝CBF(担当:吉岡 弘貴)

■ 2021 年度 総括

聴覚障害者向けスキルアップの講習と、先進的な取り組みをしている企業の活動事例を共有し、聴覚障害者が職場で働きやすい様に改善すべく活動を実施した。

■ 2021 年度 活動報告

- ① 2021 年 5 月：CBF チーム交流会開催（15 名参加）
- ② 2021 年 5 月：ファシリテーション、プレゼンテーションのワークショップ開催（30 名参加）
- ③ 2021 年 6 月：V500 推進 Team の Kick Off ミーティング開催
- ④ 2021 年 7 月：V500 推進 Team の会合開催
- ⑤ 2021 年 8 月：アクアセンチュア) 山口氏の講演企画（10 名参加）
- ⑥ 2021 年 11 月：兵庫県人権啓発協会にデジタルディバイドに関する記事を寄稿
- ⑦ 2022 年 4 月：塩野義製薬) 原氏の講演企画（19 名参加）

(2) 家族をみんなでカンガエルプロジェクト(担当:藤木 和子)

■ 2021 年度 総括

助成金を受けて、透明マスク 1000 配布と応援メッセージ動画、家族・ヤングケアラー等をテーマにしたユーチューブ対談動画作成を行った。

■ 2021 年度 活動報告

(1) 2021 年 3～4 月

子ども向け透明マスク 1000 枚配布 & 応援メッセージプロジェクト（対象：聞こえない子ども、聞こえない親をもつきょうだいや子どもがいる家庭、パブリックリソース財団助成 150 万円）

(2) 2022 年 1 月～3 月

キコエル・キコエナイと家族・ヤングケアラーをテーマにした対談動画等（ユーチューブで公開中、麒麟福祉財団 97 万円）

(3) 電話リレーサービス普及プロジェクト(担当:山口 タケシ)

■ 2021 年度 総括

2021 年 7 月 1 日より、ついに法に基づいた電話リレーサービスの公的運用が開始された。所感として、これまで IGB が行ってきた様々な活動が形になった成果もあるものの、様々な課題点について引き続き注視し状況に応じて声をあげていく必要があると考える。

■ 2021 年度 活動報告

(1) 講演等：26 回（延べ参加者数:約 750 名）

① おもな主催団体

地域の聴覚障害関連団体、社会福祉協議会、自治体、手話サークル、消防局(横浜市)、警察(神奈川県警有志)、手話通訳団体(東京手話通訳等派遣センター、調布市登録手話通訳の会)、手話でいきる子どもの「あ〜とん塾」など

② 自団体主催はなく、他団体主催に講師として招かれたものが多かった。理由としては、IGBの知名度があがってきたこと他、助成金が得られていない点も大きい。

(2) 政治活動

- ① 手話推進議員連盟でのオンライン説明会(伊藤・藤木)
- ② 金融庁・経済産業省への要望提出および意見交換(伊藤・三原・山口)
- ③ 電話リレーサービス運用開始セレモニーへの出席(伊藤)
- ④ 一般財団法人電話リレーサービスによる字幕表示機能付き電話サービス(CTS)ヒアリングに参加(山口ほか)

- (3) 寄稿
 - ① 「近代消防」(伊藤)、広報誌「けあまね」(山口)など
- (4) 取材
- (5) 各種新聞(朝日、毎日、読売、茨城、福祉)、タウンニュース(港北区版、多摩区版)、週刊朝日、オルタナ、NHKなど(伊藤)
- (6) 啓発活動
 - ① 普及パンフレット配布：11ヶ所(336部)

(4) 手話による医療通訳推進プロジェクト(担当:吉田将明)

■ 2021年度 総括

今年度は、2020年度調査事業「病院で働く手話言語通訳者の全国実態調査」の成果として、学会発表や論文投稿を中心に取り組んだ。また、新たな事業として、医療用語手話DVD第2弾の制作に取り組み始めた。他に、関西学院大学手話言語研究センターと共催で医療通訳シンポジウムを開催するなど、これまで筑波技術大学と連携した取り組みに加え、多方面と連携しながら取り組むことができた。来年度も継続して、新たな調査研究事業等の取り組みをしていく。

■ 2021年度 活動報告

1. 調査研究事業

- (1) 2020年度調査事業「病院で働く手話言語通訳者の全国実態調査」調査報告書販売
 - ① 49冊販売済(収益:約8,000円黒字)
- (2) 学会発表
 - ① 第19回日本手話通訳学会:2021年6月21日~7月20日(オンデマンド形式)
 - i 「医療通訳育成カリキュラムの検討(1)」
 - a 発表者・共同研究者:大杉豊、吉田将明、高井洋、白澤麻弓、鮎沢聡
 - ii 「病院内手話言語通訳者のネットワーク構築に向けて」
 - a 発表者・共同発表者:鈴木美紀、山口龍子、古屋敷一美、榎原理恵、吉田将明、大杉豊
 - ② 第6回国際臨床医学会学術集会:2021年12月11日
 - i 病院内手話言語通訳者の実態調査に見る「派遣型」との相違点と課題(口演発表)
 - a 発表者・共同発表者:吉田将明、鈴木美紀、古屋敷一美、榎原理恵、山口龍子
- (3) 論文掲載
 - ① 国際臨床医学会学術誌第5巻(第1号)論文掲載:2021年12月
病院内手話言語通訳者の実態調査に見る「派遣型」との相違点と課題
A Qualitative Analysis on “Hospital Employed” and “On-Call” Sign Language Medical Interpreters
筆頭執筆者・共同執筆者:吉田将明、鈴木美紀、古屋敷一美、榎原理恵、山口龍子、大杉豊
 - ② 日本手話通訳士協会研究紀要『手話通訳:実践と研究』原著論文掲載:2022年3月
病院内手話言語通訳者のネットワーク構築に向けて
~「病院で働く手話言語通訳者の全国実態調査」結果の考察から~
筆頭執筆者・共同執筆者:古屋敷一美、鈴木美紀、山口龍子、榎原理恵、吉田将明、大杉豊
- (4) 新規調査研究事業の検討
医療従事者の手話通訳の必要性に関する影響因子を調査予定
オンラインによる討議を2022年1~3月に計5回実施
インタビュー調査内容の検討、本格研究準備(倫理審査委員会など)

2. 医療通訳シンポジウム

手話通訳研修(シンポジウム・医療通訳演習)

テーマ:あなたの知らない手話通訳の世界 ~手話による医療通訳~

日時:2021年11月23日(火・祝)

主催:関西学院大学手話言語研究センター

共催：兵庫県手話通訳士協会、NPO法人インフォメーションギャップバスター、関西ろう者医療保障研究会
参加者数：765名（申込数：約950名）
収益：±0円（費用は全額関西学院大学手話言語研究センターが負担）

3. オンデマンド講演会

テーマ：米国での遠隔医療通訳に対する医者とうろう患者の評価比較

講師：矢部愛子氏（筑波大学）

視聴期間：2021年10月2日（土）～10月31日（日）

参加者数：172名

収益：約5.5万円黒字

4. 医療用語手話DVD販売、第2弾作成

(1) 第1弾医療用語手話DVD販売

- ① 2021年度：約280枚販売済（計約2,000枚販売済 ※2020年度約1,700枚販売済）
- ② 収益：約27.5万円黒字

(2) 医学と公衆衛生の学術情報誌「モダンメディア」への執筆

- ① DVD「医療用語を日本手話で～医療従事者とうろう通訳者の協働～」の制作に関わって

その1：手話とはどういうものか

小林雅和（学校法人明晴学園中学部主任教諭、ろう通訳者養成講座修了生（NPO法人手話教師センター）

その2：医療用語のDVD制作の監修に関わって

田崎ゆき（小松川医院院長）

(3) 第2弾医療用語手話DVD作成

オンラインによる討議で順調に進んでおり、2022年夏頃に販売開始見込み

共同制作：関西学院大学手話言語研究センター、NPO法人手話教師センター、関西ろう者医療保障研究会

5. 筑波技術大学の手話による医療通訳カリキュラム検討（研究協議会委員：吉田将明）

勉強会開催：2021年8月に順天堂大学と合同で実施

研究協議会：2021年9月・12月・2022年3月にオンラインにて計3回実施

医療通訳研修見学（国立国際医療研究センターによる医療通訳研修）：2021年9月・11月に計2回実施

医療通訳演習の試行：2022年1月に筑波技術大学にて現地とオンラインのハイブリッドで実施

文部科学省科学研究費助成事業申請内容の検討：IGBの調査研究事業と並行して取り組む

(5) インクルーシブ防災プロジェクト(担当:鈴木 義雅)

■ 2021年度 活動報告

1. 2021年度 活動報告

(1) 7月27日（火）ろう児向け防災ワークショップ（子どものあ〜とん塾）

- ① 講演講師出務

(2) 11月6日（土）メンバー情報交換会（Zoom）

- ① 目的、課題、現状、今後の予定、質疑応答、意見交換など
- ② 参加者：10名

(3) 3月20日（日）防災講演会（Zoom）

- ① テーマ：震災時の心の支え～3.11から見えた備えと支援
- ② 講師：岩手県聴覚障害者協会
- ③ 参加者：申込者数・40名（ライブ配信・27名、アーカイブ配信視聴数・48回）

(6) コミュニケーションディレクターチーム(リーダー:吉田 麻莉)

■ 2021 年度 総括

2021 年度から始動した本チームは各プロジェクトチームの横断を目指し情報共有・発信を団体内に限らず行う事ができた。インターンシップ生と連携し、IGB10 周年イベントをコミュニケーションディレクター主催で運営、IGBの理念を団体内に 浸透させることができた。対外活動を含め引き続き情報発信を行いたい。

■ 2021 年度 活動報告

1. 講演アシスタント・ロビイングアシスタント

(1) 7月4日(吉田)

- ① 講演アシスタント
- ② 神奈川県警察手話勉強会
- ③ 電話リレーサービス講演会

(2) 7月11日(石川)

- ① 講演アシスタント
- ② 東京都日野市聴覚障害者者協会主催 電話リレーサービス講演

(3) 7月18日(石川)

- ① 講演
- ② 東京都府中市聴覚障害者協会主催 電話リレーサービス講演会

(4) 8月24日(石川・吉田)

- ① ロビイングアシスタント
- ② 手話推進議員連盟は各党代表者と面会し、オリンピック・パラリンピック開閉会式などにおける情報提供の面での合理的配慮の要望書を提出

(5) 9月6日(石川)

- ① ロビイングアシスタント
- ② 東京都庁記者クラブ主催記者会見

(6) 9月15日(吉田)

- ① 司会
- ② オンデマンド講演会「米国での遠隔医療通訳に対する医者とうろう患者の評価比較」

2. 10周年リレーイベント

- (1) 第一弾 6月9日「10年の軌跡を追う!理事長ベネエ×コミュニケーションディレクターいくらによる特別対談」
- (2) 第二弾 6月30日「ベネエ流マネジメント講座~伊藤理事長特別講座~」
- (3) 第三弾 7月19日 10年の軌跡を追う~山口理事とコミュニケーションディレクター石川による対談企画~

3. 会員限定企画

4. インターンシップ交流会 6月10日

5. IGB勉強会 9月7日「ICTツール勉強会」(運営協力)

6. 定例会 3月8日 講演会(運営協力)

7. 「政策に当事者の意見を反映するためには -私たちの将来を決める政策をより良いものにしよう!-」

8. NPO法人インフォメーションギャップバスター10周年記念セレモニー動画制作(運営協力)

<https://youtu.be/0i2xcu14Yj0>

9. 広報

(1) SNS投稿件数(一般Facebookから3/31時点)

- ① IGB 主催のお知らせ関連: 102 件(うちコミュニケーションディレクター主催 17 件)
- ② 外部シェア・理事の活動のお知らせ: 63 件

(2) 会員限定 Facebook ページ:フォロワー76 人

(3) 会員 LINE グループ:登録者 79 人

(4) Facebook ページ(一般公開):2615 人

(5) Instagram(一般公開):212 人

(6) Twitter(一般公開):475 人

(7) 公式HP

① 動画撮影:電話リレーサービス講演受付動画(6月公開)

(7) 透明マスク普及プロジェクト(リーダー:石川 さと)

■ 2021 年度 総括

2021 年 8 月にクラファン活動「透明マスク活用大作戦」を支援していくことをきっかけに新規事業として立ち上げ、約 1,200 枚の透明マスクを配布した。そして、クラファン活動の一環として開催したリターン講演会を共催し、「コロナ禍における情報保障と支援の多様化」について外部講師を含めお話頂いた。その成果報告として、家族をみんなでカンガエルプロジェクトと共催して、YouTubeにて対談コラボさせていただいた。来年度も継続して配布・啓発事業を行っていく。

■ 2021 年度 活動報告

(1) 透明マスク配布等事業

- ① 「透明マスク活用大作戦」の P R 活動や各団体・各機関との連絡調整などのバックアップを行った。
- ② 期間：2021 年 8 月～9 月
- ③ 支援総額：2,076,062 円
- ④ 支援者数：297 人
- ⑤ 北海道から沖縄県まで 1,200 枚の透明マスクを配布した。また、約 90 の大学の障害学生支援室に連絡を取り、透明マスクの必要性を訴え、配布する事業を展開した。
- ⑥ 当団体のインターン生である川端を中心に透明マスクの必要性や学内における困りごとや情報保障のニーズ等を把握するためにアンケート調査やヒアリング活動を行った。

(2) リターン講演会「コロナ禍における情報保障と支援の多様化について」

- ① 日時：2021 年 12 月 12 日 14:30～16:00
- ② 講師：伊藤芳浩・藤木和子・白澤麻弓先生
- ③ 企画担当：石川さと・川端彩加
- ④ 対象：オンライン（62 名参加）

3. その他の事業成果

(1) 情報化社会の発展を図る活動

下記に示す通り、コミュニケーションバリア・情報バリアの解消のためのロビイング活動を行ない、いずれも成果を上げることができた。

① オリパラ手話通訳未放映問題

東京オリンピック開会式では、手話通訳が放映されなかった問題を受け、IGB は手話推進議連と連携し、NHK・民放連・組織委員会・東京都に手話通訳を放映するように複数回の要望を提出し、オリンピック閉会式より、手話通訳配置につなげることができた。

② 手話パブコメ問題

難聴児の早期発見・早期療育推進のための基本方針案に対するパブリックコメント募集においては、当事者であるろう者にとって極めて重要であるものの、手話を第一言語とするろう者に対して、手話での方針案の説明がなく、また、手話で意見を提出できない問題を受け、ロビイング活動を行なった結果、主催元の厚労省に手話での提出を認めていただいた。中央省庁では、初めてのケースであり、貴重な前例を作ることができた。

(2) 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動

① 情報格差の問題意識を高めるための情報発信及び啓発事業

- ・ 日本聴力障害新聞・近代消防に記事を掲載した。
- ・ サステナブル・ビジネス・マガジン「オルタナ」に理事代表として、伊藤理事長が記事を掲載した。

- ・ オンライン集会 1 回（オリパラ手話通訳未放映）、講演 33 回（電話リレーサービス他）実施し、延べ約 3291 人以上が参加
- ・ 記者会見 1 回（オリパラ手話通訳未放映）、陳情 7 回（電話リレーサービス 1 回、オリパラ手話通訳未放映 3 回、手話パブコメ 3 回）、要望書提出 5 回（電話リレーサービス 1 回、オリパラ手話通訳未放映 4 回）、パブリックコメント提出 1 回（難聴児早期療育基本方針案）、意見表明（ヤングケアラー、旧優生保護法違憲訴訟判決について）を行った。
- ・ プレスリリースを 4 回（手話による医療通訳、電話リレーサービス、オリパラ手話通訳未放映問題、家族）発行した。

(3) 情報弱者をなくすための情報提供システムの開発事業

- ・ Web サイトを運営し、通年で約 4.7 万名に発信した。(ユニークユーザー数)
- ・ facebook ページの「いいね！」は 6,956 名(3 ページ合計、昨年度比 187 名増加)を突破し、認知度が上がってきている。
- ・ メルマガを 20 回発行(昨年度比 3 回増加)し、約 4,300 名(昨年比 1,400 名増加)が購読。

(4) 情報リテラシー向上のための教育事業

- ・ 今年度は活動なし。

(5) その他

- ・ 第 11 回定期総会を 6/19 に、理事会は、4/11、12/23、2/24 に開催した。
- ・ 「オリンピック等国民的行事に手話通訳を」第 16 回マニフェスト大賞 エリア選抜に選出された。

4. 事業の実績に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施回数	実施日	実施場所	テーマ	受益対象者の範囲及び人数		
(1) 情報格差の問題意識を高めるための情報発信及び啓発	シンポジウム	5	21/08/07	オンライン	オリンピック開会式	一般	130	
			21/09/11	GEWEL オープンフォーラム 2021	D&I	一般	200	
			21/09/12	オンライン	オリパラ、電話リレーサービス	一般	20	
			21/11/23	オンライン	医療通訳シンポジウム手話通訳研修	一般	765	
			21/12/12	オンライン	情報保障と支援の多様化	一般	62	
			21/12/24	オンライン	公共調達について	一般	100	
	講演定例会			21/04/27	オンライン	会員交流会(電話リレーサービス)	会員	9
				21/04/28	オンライン	会員交流会(インクルーシブ防災)	会員	5
				21/05/08	オンライン	会員交流会(コミュニケーションバリアフリー)	会員	12
				21/05/13	二宮町町民センター	電話リレーサービスについて	一般	30
				21/05/18	オンライン	電話リレーサービスについて	一般	2515

21/06/08	オンライン	電話リレーサービスについて	一般	38
21/06/09	オンライン	対談企画(伊藤×吉田)	一般	22
21/06/19	オンライン	電話リレーサービスについて	一般	15
21/06/19	国分寺市ひかりプラザ	ろう者でも聴者でもない“中途失聴者”とは ～両耳が聞こえなくなった元プロ・ミュージシャンの生き様～	一般	30
21/06/26	稲城市中央公民館	電話リレーサービスについて	一般	30
21/06/30	オンライン	マネジメント講座	一般	15
21/07/03	平泉コミュニティセンター	電話リレーサービスについて	一般	80
21/07/04	横浜市菊名地区センター	電話リレーサービスについて	一般	26
21/07/10	埼玉県新座市	電話リレーサービスについて	一般	15
21/07/10	稲城市 福祉センター	人権と法律について	一般	20
21/07/11	日野市中央福祉センター	電話リレーサービスについて	一般	30
21/07/18	新座市立野火止公民館	電話リレーサービスについて	一般	40
21/07/18	府中市民活動センター	電話リレーサービスについて	一般	31
21/07/19	オンライン	対談企画(山口×石川)	一般	18
21/07/25	足立区生涯学習センター	電話リレーサービスについて	一般	30
21/07/27	あ〜とん塾	防災	限定	8
21/07/27	オンライン	アンコンシャスバイアス勉強会	一般	12
21/08/07	オンライン	手話通訳研修	一般	25
21/08/29	オンライン	V500 ミーティング	限定	10
21/08/31	株式会社ジーネクスト	お客さま相談室に関連する情報を知る～電話リレーサービスからの入電に備えて～	一般	20
21/09/07	オンライン	ICT ツール勉強会	一般	24
21/09/11	稲城市 福祉センター	障害者雇用の現状について	一般	20
21/09/28	オンライン	やさしい日本語	一般	2550
21/10/24	旭町南地区区民館 (2F 多目的室)	電話リレーサービスについて	一般	20
21/11/03	あ〜とん塾	IT・デジタル×電話リレーサービス	限定	2
21/11/11	オンライン	音声認識をよりよく活用しよう	一般	63
21/11/13	複合施設「美竹の丘」	電話リレーサービスについて	一般	25
21/11/27	狛江市	コミュニケーションバリアについて	一般	30
21/11/28	小金井市障害者福祉センター	電話リレーサービスについて	一般	31
21/12/04	志木市総合福祉センター	電話リレーサービスについて	一般	63
21/12/11	あ〜とん塾	IT・デジタル×電話リレーサービス	限定	6
21/12/13	横浜市民防災センター	電話リレーサービスについて	一般	40
21/12/14	保土ヶ谷公会堂 1号会議室	電話リレーサービスについて	一般	30

		21/12/22	オンライン	パブコメについて	一般	130
		21/12/27	東京手話通訳等派遣センター	電話リレーサービスについて	地域手話通訳者クラス養成課受講生	90
		22/02/19	オンライン	通訳者の心構えについて	一般	30
		22/03/08	オンライン	政策に当事者の意見を反映するためには	一般	18
		22/03/12	稲城市 福祉センター	専門通訳の動向について	一般	20
		22/03/14	川西市総合センター	電話リレーサービスについて	一般	30
		22/04/02	オンライン	働きやすい職場の改善事例の紹介	一般	17
		22/05/08	伊勢崎市障害者センター	電話リレーサービスについて	一般	25
	展示会	1	通年	Web サイト	一般市民	47,000
(2) 情報弱者をなくすための情報提供システム開発 (情報提供システム開発事業・Web での情報発信)	-					
(3) 情報リテラシー向上のための教育(ワークショップなどの開催/企画事業・セミナー)	0					
(4) 情報弱者の雇用機会創出の支援 (障がい者ダイバーシティに関するディスカッション開催)	0					

(2) その他の事業

- ・ 今年度は事業なし